

チャイコフスキー国際コンクールの《幸せな敗者》

どうして、チャイコフスキー国際コンクールはエドゥアルト・クンツの魅力がわからないのか？ 耳が聴こえていないのか？ 真に芸術的な音楽家を発掘するコンクールでは、なかったのか？ … (中略) …

後日、彼と話すことが出来たが、なんとも幸せな敗者であった。なぜか？ 彼の演奏を生やオンラインで聴いた聴衆たちが、数千通に上る称賛のメールを送り、ロシア最大手の音楽事務所からスカウトまできたからだ。コンクールを支配する政治と、敗退にも負けない高評価を、世間から得たのだ。

(英:ガーディアン紙)



エドゥアルト・クンツ Eduard Kunz, Piano

1980年、シベリア地方に位置するオムスク生まれ。グネーシン音楽学校にてミハイル・ホフロフに、またモスクワ音楽院にてアンドレイ・ディエフに学び、極めて優秀な成績を修める。その後イギリス王立ノーザン音楽大学にてノーマ・フィッシャー、マーク・レイにも師事、ゴールドメダルを獲得。

その詩的かつ円熟した演奏、才能とカリスマ性が認められ、BBCミュージック・マガジンより「明日の偉大なピアニスト10人」に挙げられた。ジョルジュ・エネスコ国際コンクール、パデレフスキ国際ピアノコンクールなど14の国際コンクールで優勝を果たす。2011年のチャイコフスキー国際コンクールでは二次予選に進むも落選。しかしその演奏は一躍センセーショナルを引き起こした。ロンドン音楽家名誉組合より銀メダル、また服部音楽財団、デーム・マイラ・ヘス、ヤマハ・ヨーロッパ音楽財団、スピヴァコフ財団、ロストポーヴィチ財団よりリヒテル賞などの多くの賞を授与。

これまでにフィルハーモニア管弦楽団、BBC交響楽団、王立スコティッシュ・ナショナル管弦楽団、バーミンガム市交響楽団、サンクトペテルブルク・フィル、ベルリン・ドイツ響、王立ストックホルム・フィル、トゥールーズ・キャピトル国立管、ワルシャワ・フィル、アルメニア・フィルなどのヨーロッパの主要オーケストラと共演している。共演指揮者としてはスタニスラフ・スクロヴァアチェフスキ、トウガン・ソヒエフなどがある。

ルーヴル美術館ホール(パリ)、コンセルトヘボウ(アムステルダム)、ヴェルディ音楽院大ホール(ミラノ)、ウィグモアホール(ロンドン)、などの主要ホールでリサイタルを行なっている。

モスクワ・フィルハーモニー協会アーティスト、ヴェルビエ音楽祭桂冠アーティスト、BBCラジオ3新進アーティスト、ヤマハアーティスト。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

■交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック


宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター

営業時間:10:00~18:00
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)